

チーム IWASA

I7N1007 岩佐一輝

I7N1020 小川晴喜

I7N1026 勝野楓未

I7N1080 遠山大輝

I7N1107 山口晃司

アドバイザー

村上 凜人

宋 佳蔚

北千住の生い立ち

江戸時代、日光東照宮を訪れるための日光街道がつくられ、その始めの宿場町として線状の街が形成される。

そして、日光街道を含む3本の線によって町の変遷を見ていく。

1、旧日光街道（宿場町通り）

2、鉄道

3、国道4号線

~1890

日光道中へ向かう交通の要であった千住は、身分・性別を問わず、多くの人々が行き交う場所

江戸から一日で往復できる距離にあった千住は、多くの庶民で賑わった。

その反面、町の外側には田んぼや畑が広がっていた。

1887年 千住中組青物市場と千住中組鳥魚市場が東京府の公認になる。



1890~1920 年

東京屈指のターミナル北千住駅の生い立ち

1893 年 千住馬車鉄道、千住茶釜橋一越谷間 営業開始

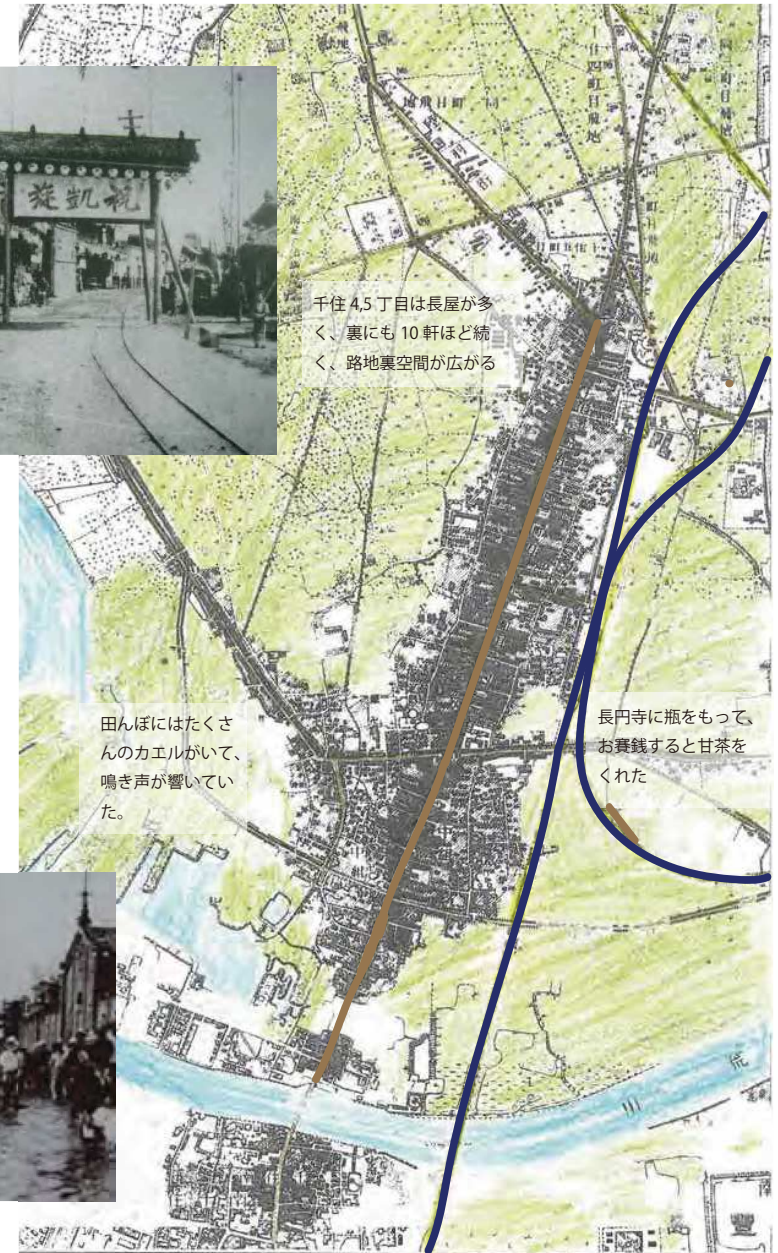
1896 年 日本鉄道土浦線、北千住駅開業

1899 年 東武鉄道、北千住一久喜間 開業

電車を通ること街は肥大化してゆく

1910 年 東京大洪水が起きる

水害に悩まされた東京がついに動く



1920~1945 年

インフラの整備が進む

1924 年 東部電鉄、浅草～西線井間を電化し電車運転開始。

1925 年 ミリオン座 開業

1926 年 国道四号線の新道（千住大橋～千住新橋間完成）

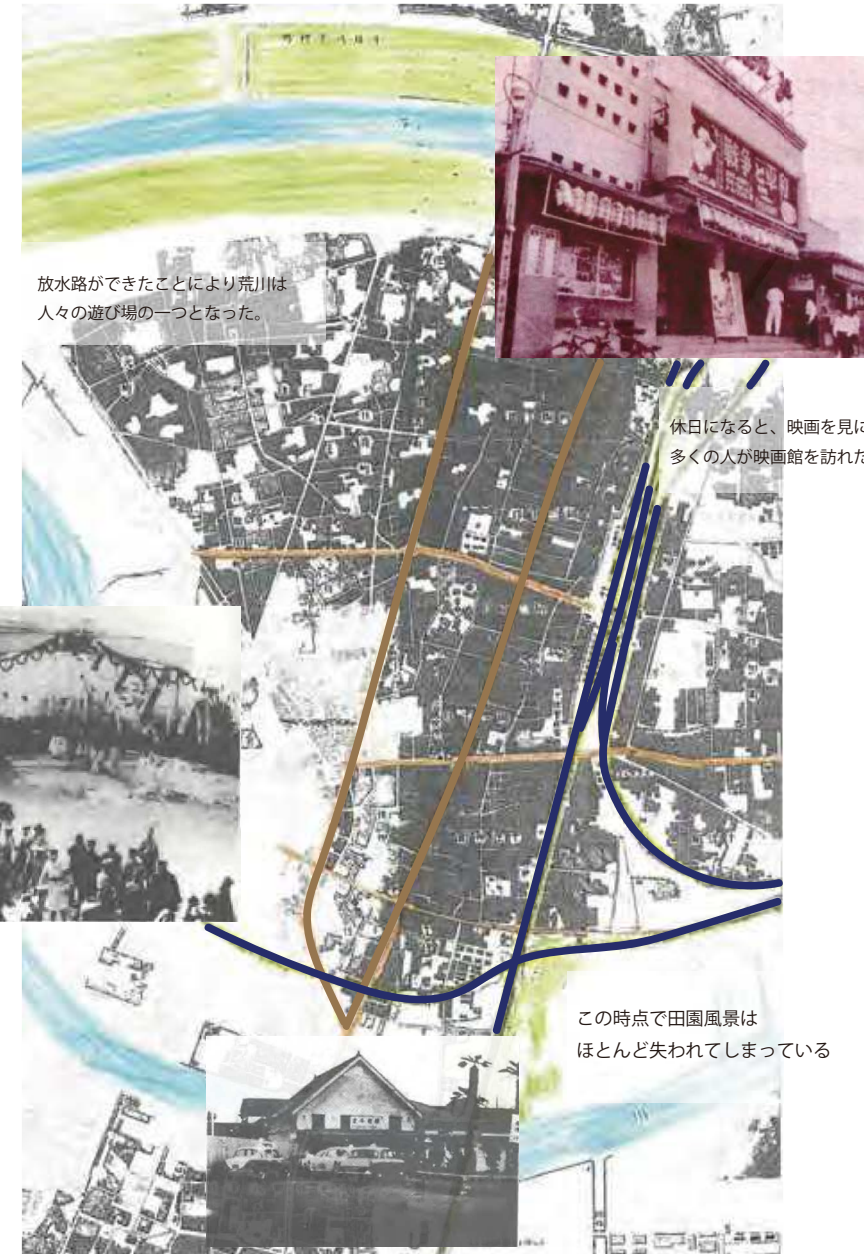
1927 年 千住大橋開通

1928 年 東京市電、千住四丁目まで乗り入れ。

1930 年 荒川放水路 事業竣工

1936 年 常磐線、上野～松戸間電化。

街は国道 4 号線を中心に、旧街道の賑わいは影をひそめる
そして、戦争で焼野原と化す…



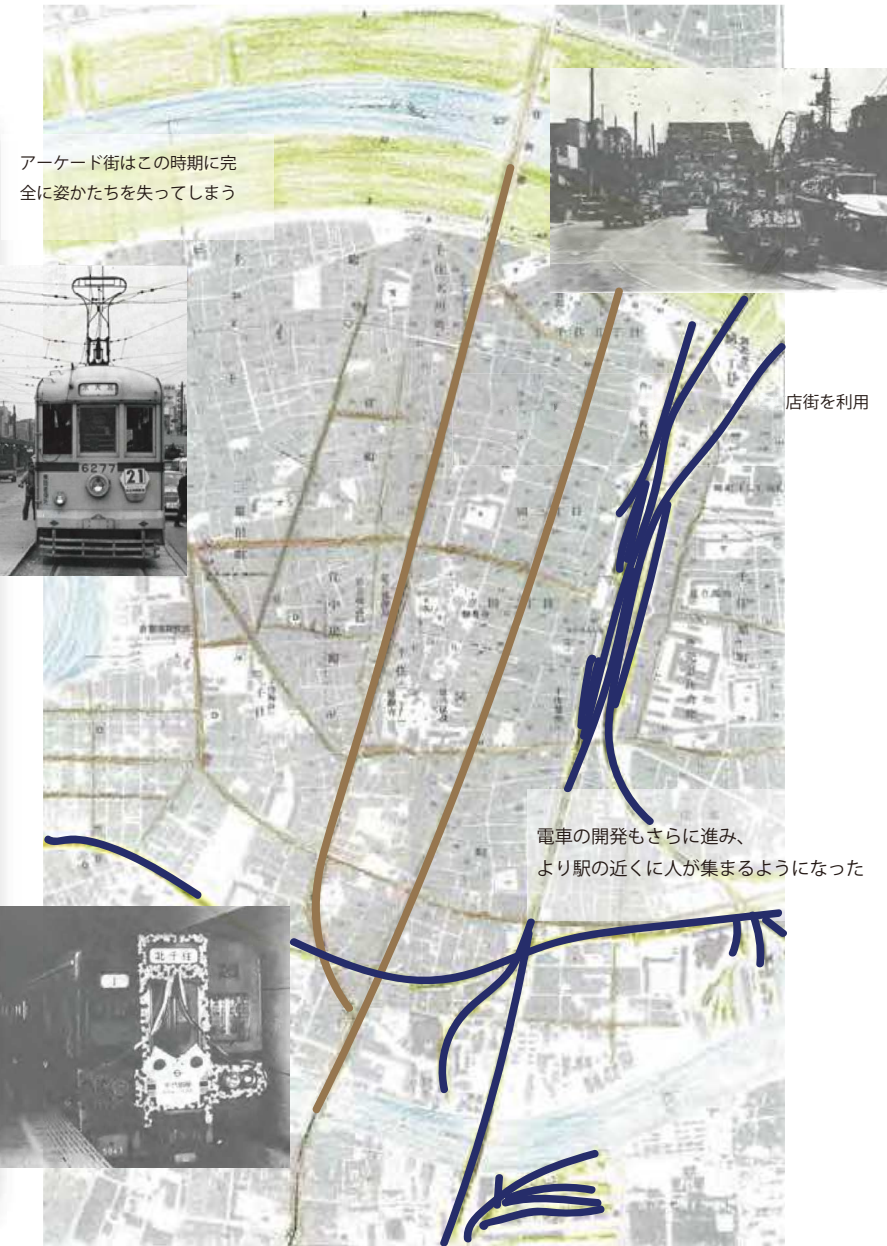
1946~1989年

- 1950年 ヨーカ堂 開業 (のちのイトーヨーカドー)
- 1962年 地下鉄日比谷線 (北千住~人形町間開通) 東武線と相互乗り入れ開始。
- 1968年 都電、千住四丁目~三ノ輪橋間廃止。
- 1969年 地下鉄千代田線 (北千住~大手町間) 開通。
国道4号線幅工事開始。

国道4号線は交通の変化に伴いアーケード街の賑わいが失われる

- 1970年 マルイ北千住店開業
- 1971年 地下鉄千代田線 (北千住~綾瀬間) 開通。常磐線と相互乗り入れ開始。
- 1985年 ルミネ北千住店開業

電車の利便性の向上やデパートの登場、北千住駅を中心に生活のスタイルに変化



現代



地価が上がり、借り地で店をやっていた人々が経営できなくなり、街にチェーン店が多く参入した。



つくばエクスプレス開通
商業的な賑わいが東口に広がった。



1993年より大学のキャンパスが立て続けに建設される。特に2012年に建設された、東京電機大学は東口の雰囲気を一変させ、学園都市のイメージを植えつけた。

1989年 平成始まる

大学を誘致し、街に若さを取り戻す

1993年 放送大学

2005年 つくばエクスプレス開通

2006年 東京藝術大学

2007年 東京未来大学

2010年 帝京科学大学

2012年 東京電機大学

学生の増加を許容し、歴史ある街に新たな街の顔を現れる

変化する時代に街は呼応する。

柔軟に対応する都市基盤は北千住にはあり、
宿場町通りを中心にこれからも変化し続ける。